



学園通信

◆2020年(令和2年)4月20日発行 ◆Vol.33

- 80 平成25年10月
アンパンマン作者ゆなせたかしさん死去。
- 78 平成25年9月
つつじが丘幼稚園に青い汽車バスが入る。
- 79 平成24年7月
第2回とかち童謡まつりを実施。
会場：とかちプラザ
(つつじが丘幼稚園が参加)
- 77 平成24年6月
第6回動物園で童謡を歌おうよーを実施。
(前年から帯広の森幼稚園単独開催)
- 76 平成23年7月
第1回とかち童謡まつりを実施。
会場：とかちプラザ
(つつじが丘幼稚園が参加)
- 75 平成23年6月
第5回動物園で童謡を歌おうよーを実施。
(帯広の森幼稚園が参加)
- 74 平成22年6月
第4回動物園で童謡を歌おうよーを実施。
(帯広の森幼稚園とつつじが丘幼稚園が参加)
- 73 平成22年4月
つつじが丘幼稚園に双子の園児4組入園。
・帯広葵学園理事長に上野敏郎氏が再就任。

帯広葵学園の歴史(ある資料からの転載)

沿革を今一度振り返ると：その9

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

故きを温ねて、新しきを知る
〜葵学園のあしあと〜

《あしあとの忘れ物》

昭和39年から平成25年まで、記録に残したい事柄を箇条書き的に書いてきました。それは、平成16年12月に帯広の森幼稚園とつつじが丘幼稚園の「園歌」が完成、翌17年4月の入園式で披露したことです。葵学園には、それまで源照学園時代に作成した「葵幼稚園園歌」がありました。その歌を「葵学園園歌」として歌ってきましたが、幼稚園別の園歌を作ろうとなり、当時の幼稚園の園長先生に作詞をお願いし、翌年つつじが丘幼稚園の園長に就任した菅園長に作曲をお願いしました。それが、現在子どもたちが歌っている夫々の園歌です。これは書き忘れてはいけないことでした。ここで追記しておきます。

◎帯広の森幼稚園園歌

作詞 今野隆雄 作曲 菅 幹夫

◎つつじが丘幼稚園園歌

作詞 笠井武英 作曲 菅 幹夫

(平成25年10月3日 十勝毎日新聞)

十勝毎日新聞



ショッス

○：帯広つつじが丘幼稚園(奥野淳一園長、園児27人)の送迎バスのうち1台が新しくなった。汽車をモチーフにしたかわいらしい新車に園児たちは大喜びだ。写真。
○：バスは緑色の車体に煙突や車輪、パンダを装飾し、43人の子供と4人の大人が乗ることができ。汽笛をつくりのクラクションや上部の煙突からは水蒸気を出す演出

○：帯広つつじが丘幼稚園もお披露目され、早速園児を乗せて園内の敷地を一周した。
○：汽笛を鳴らして出発すると、園児は大はしゃぎ。上山紗耶楓ちゃん(5)は、「かわいくて楽しかった」とうれしそうに話した。バスは1日から市内を走っている。



学校法人 **帯広葵学園**

〒080-0022
帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F
TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778
URL <http://www.obihiraaoi.ed.jp>



東士狩保育所・南中保育所・西中保育所